

関東 UHF コンテストのつばやき

de JA1RIZ

今回も期待を込めて、2400MHz 帯に参加しましたが、1ポイントのみで涙の結果に終わりました。

今回の移動ポイントは、いつもの「比良の丘」と市役所の近くのグランドサイドの2か所。

ところで、今回は2400というバンドでの運用なので、「ノイズ」には無縁であると思っていたが、思わぬところに伏兵がいるのに気が付いたのです！

それは近年の情報機器の普及で、無線LAN、Wi-Fi や Bluetooth によるノイズ(?)の影響である。ちょうど2.4GHzあたりの周波数帯が使われているようなのだ。比良の丘ではあまり感じなかったが、市役所付近(官庁街/都市部)ではどの方向もノイズで『9+20dB』もの強度(FM受信時)になった。特に建物方向ではその強度が更に大きくなった。

今回は、自局がこのノイズの中でCQを連発したが不発で、どうしてお客様(コールしてくれる局)がきいてくれないかと嘆いていたのです。本当は応答があったのかもしれないが、ノイズで相手の信号がとれなかったのかもしれない！

実は、前のコンテストの際、相手局の信号はソコソコのレベルで受信できていたが、全く応答のない局が数局あって、『なんて耳が悪いのだろう!』なんて思っていたが、こういうノイズの中でやっていたのかなー……などと思えば納得できるというものである。

いまや、2.4G帯だけでなく、5.6G帯もそれらOA機器類からのノイズ(妨害とりたいが、悲しくもアマチュア無線は二次業務用との位置づけである。)を受けているようだ。先日は某・自然豊かな公園の防犯カメラの近くでも同様のノイズがあった。これも画像をWi-Fiなどで飛ばしているせいかな?などと思った次第です。

情報機器の氾濫、太陽光発電、エアコンなどの普及により、これらノイズの氾濫は増えるばかり。

これらは便利な文明の利器ではあるが、我ら無線家にとっては実に厄介なものだ。この先、雑音(?)が無くなる日がやってくるのだろうか？

(完)